

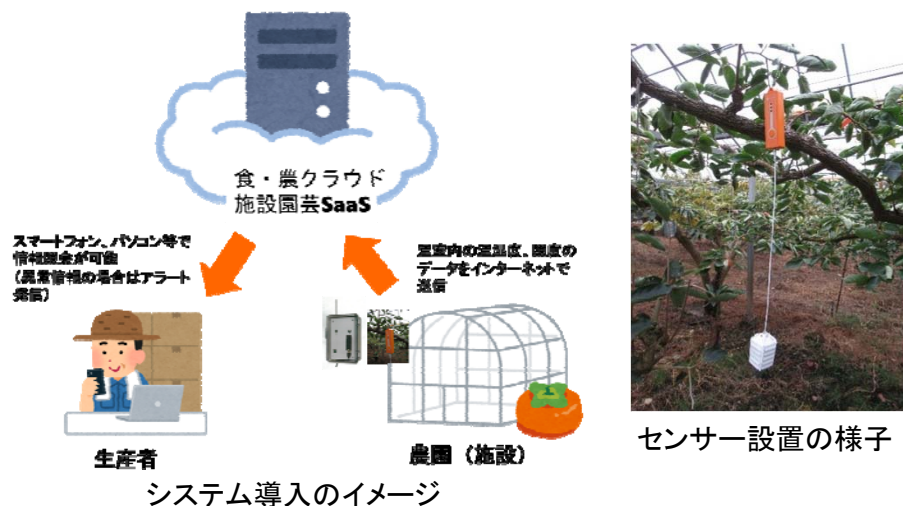
経営体の概要

- ・所在地: 奈良県五條市
- ・経営体名: 赤松ハウス柿生産組合
- ・栽培作物・作付面積: ハウス柿・約1.9ha
(ハウス数: 11棟)

導入技術

・食・農クラウド Akisai 施設園芸SaaS-S (富士通)

各種センサ情報の収集や機器の制御を行うハードウェアであり、蓄積された様々なデータを利活用するクラウドサービス。これらの利用により、生産プロセスの見える化や温室の遠隔監視、装置の遠隔制御が可能となる。



導入経緯

ハウス内の温度はフィルムの自動開閉により調整されるが、開閉装置の故障等でハウス内が異常(特に高温)になることがあった。気付くのが遅れると、樹の衰弱や果実品質の低下を引き起こすため、ハウス環境の遠隔監視を目的に、平成30年より本技術を導入した。

取組の特徴・効果

- 「食・農クラウド Akisai 施設園芸SaaS-S」を導入して、ハウス柿の環境の監視を実施。ハウス内の温度はパソコンやスマートフォンで確認が可能。これにより、生産者のほ場見回り等に関する軽労化が可能となった。
- さらに、ハウス内が異常温度になった場合はアラート発信があるため、ハウス内の異常に素早く気付くことができるようになった。システム導入後は、トラブルへの迅速な対応が可能となり、異常温度による被害は回避している。
- 当システムは温度以外にも湿度や照度の測定も可能であり、今後、研究機関と連携して、これらのデータを蓄積、分析することで、果実の品質向上技術や収穫時期の予測技術等の開発に取り組む予定。